

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5年 5月 12日

事業所名 ふあみりずむ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	個室でゆっくり遊ぶ空間も作っている	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	利用者の支援に応じて関わるスタッフを交代する等工夫している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%		手すりや職員の介助で安全に移動しています。一人で移動できる利用者も確実に見守っている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		いざというときに備えられるように、定期的に確認する
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	「いいえ」は無かったが「わからない」についてスタッフ間で共有し改善する	今回初めての自己評価。今回の評価を周知共有する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	今回より実施。早く届くように公式LINEにて発信する	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	0%		必要に応じて改善につなげる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		事業所内にての研修や、各自オンラインなどの関心のある研修を共有しスキルアップに取り組んでいる
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		モニタリング、日々の様子を電話やLINEを通して共有し、支援計画に反映させている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	検査結果を基に支援の課題、声かけなど適切な対応をしている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	日々の気づきや対応の工夫により変化があった時など、その都度共有しプログラムに活かしている	案を作成する段階で、情報を持ち寄り反映している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	個々の職員の持ち味・得意なことを生かしプログラムに取り入れている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	土曜日、長期休暇には外出や買い物体験やクッキングなどのプログラムや、子どもの声を取り入れたプログラムを取り入れている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	1日のスケジュールにダンスの時間と小集団・個別活動の時間を設けバランスをもたせている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	前日までに利用者名、プログラムの確認、当日に支援の留意点を確認共有している メールなども利用し直接連絡できない場合にも確実に伝わるようにしている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	100%	0%	気づいた点、声掛けの内容など共有し、適切な支援ができたか確認している。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	一人の見知で判断せず関わった職員間でまとめて課題共有し、検討に繋げている記録している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	6か月ごとのモニタリングの他に、事業所からの気づき、保護者からの相談に応じて見直しをしている対面や場合により電話やオンラインで、必ず会話を通して様子をお伝えし、聞き取りを行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%	0%		取り入れる事ができる活動内容は組み合わせさせて支援に繋げている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	日頃から子どもと関わるのあるスタッフが同行するようにしている。開催時間により、出席できない時は日頃の共有情報の資料を基にしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校からの下校表を保護者から預かり、または学校からメールで届く。また各家庭に利用表をお渡しし、照会しながら行事などを照らし合わせながら時間の確認を行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%		現在は医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の支援は行っていない。受け入れる場合は、きちんと連携を図る。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	関係機関連携を開催し、情報共有をしている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	必要に応じて、保護者の同意の元、本人の状況を情報共有している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		今のところ交流はないので、連携先の繋がりを築きたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%	0%		今のところ交流はないので、連携先の繋がりを築きたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%		機会があれば参加していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や、LINE・電話などでその都度、連絡をしている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%		家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援は、行えていない
保護者への説明責	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	家庭連携・事業所内相談について、契約時に説明と同意を得て、ご希望に応じて場を設けている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%		保護者会等の開催は開催していないが、イベントなどで保護者の方が集う時に、お子さんと保護者の方の紹介し連携の機会を設けている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		スケジュールにダンスの時間の記載間違いがあった為、やらないつもりで来たが、スタッフは記載間違いに気づいてなくいつも通りの声掛け。「やらないつもりでいるのに無理やりやるように言われてしんどかった」と別スタッフに話す。本人とゆっくり話す時間を設け、母親にその状況も加えてお伝えした。

任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	Instagram、公式LINEなどを利用し、活動の様子や伝えたい事(できた事、頑張ったこと等)も含め発信している	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	施設管理している。職員同士の外部での会話も気をつけている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	絵カードやホワイトボード等、視覚で伝える・ゆっくりと易しい表現で伝えている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	ダンスイベントのチラシの配布やSNSでの発信にて告知したが、周知が少なかった	周知が少なかった。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	災害訓練は毎月行っている。職員も参加することで、ブラッシュアップしている。災害用伝言ダイヤル体験を家庭で再生してもらい、連携している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	災害訓練は毎月行っている。	慌てず対応できる様、ブラッシュアップしていく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	お互いの言動を見返す機会や、情報共有や研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	契約時に伝えて了承を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		現在、食物アレルギーの対象者は居ないが、医師の指示書を元に対応を行う。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	作成し記入後、職員間で共有し抑制に努めている。	